

しなののうた

咲く桜散るさくらにも魅せらるる桜はわれを惑わすばかり

l.MI

杉田小百合

しなののうた

やわらかに春の雨降るなかに啼くつねにもさわぐ鶯の声

杉田小百合



しなののうた

一枝のしだれ桜を引き寄せて見詰める女（ひと）に引き付けらるる

l・M

杉田小百合

しなののうた

風立ちて花吹雪舞う桜道いまをときめき行く春惜しむ

杉田小百合



しなののうた

古木なる桜の幹に抱かるがの二つ三つのさくら花見ゆ



杉田小百合